

植 調 協 会 だ よ り

場所：植調会館

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6

TEL 03-3832-4188 (代)

◎ 会議開催日程のお知らせ

・平成13年度春夏作芝閑係除草剤・生育調節剤試験

設計及び打ち合せ会議

日時：平成13年2月13日(火)，13：30～17：00

◎ 人事異動

平成13年1月1日付

命 事務局技術部技術第二課長 岡本浩一郎

命 研究所第二研究室長 村岡 哲郎

編 集 後 記

あけましておめでとうございます。21世紀の幕開けです。農業をとりまく環境は厳しいものがありますが、「逆境こそチャンス」を腹に据え挑戦したいものです。

暮れに「正月に七草粥を作りたいのですが、七草のうちスズナ、スズシロとはどんな草ですか」と問合わせがありました。春の七草とはセリ、ナズナ、ハコベラ、ゴギョウ、ホトケノザ、スズナ、スズシロの七種です。このうちセリ、ナズナは現代でも通用する和名ですが、残りの5種は古名で分からない人が多いと思います。5種の古名を現代風にするハコベラはハコベ、ゴギョウはハハコグサ、ホトケノザはコオニタビラコ（現代の雑草名のなかにシソ科のホトケノザがありますが、これは春の七草ではありません）、スズナは野菜のカブ、スズシロはダイコンです。

七草粥の風習は恐らく平安時代、冬の野菜不足の季節に野菜を補給するために春早くから現れる雑草を探し食膳に添えた先人の智恵と想像されます。正月の七草粥の伝統は今も受け継がれていますが時代の進歩とともに中味は変わり、七草を揃えるのは面倒とナズナだけ、アブラ菜だけを入れたナズナ粥、菜粥となり、さらに昨今は昔は絶対手に入らなかった夏の野菜やハーブをスーパーから手に入れ現代風七草粥が作られています。こうした時代に伝統に沿った七草粥を作ろうとしている人がいることを知って、ほのぼのとした気持ちにさせられました。

⑦

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 東京(03)3832-4188 (代)

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 小 林 仁
発行人 植 調 編 集 印 刷 事 務 所 広 田 伸 七

平成13年1月発行
植調第34巻第10号

定価420円(送料270円)
(本体400円、消費税20円)

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植 調 編 集 印 刷 事 務 所
電話 東京(03)3833-1821番(代)
印刷所 新 成 印 刷 (有)